

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立小野幌小学校 第3学年 117名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間 学級活動） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・札幌市で冬季オリンピックが開催された歴史を学ぶとともに、札幌市の発展にオリンピックが深く関係したことを学ぶ。 ・ウィンタースポーツへの興味・関心を喚起し、オリンピック競技への理解を深めるとともに、冬期間における体力向上の取組のきっかけづくりとする。
5 取組内容	○指導計画【5時間扱い】 〔オリエンテーション〕 (総合的な学習の時間1時間) ・オリンピック・パラリンピックについて知っていることを交流する。 〔札幌オリンピックミュージアム見学〕 (総合的な学習の時間2時間) ・平野由佳氏の講演・施設見学・展望台での札幌市の様子を見学する。 〔〇〇リンピック集会を開こう〕 (総合的な学習の時間1時間・学級活動1時間) ・みんなが楽しめる集会になるように競技を考え、工夫して運営・参加する。 ○取組の様子 ・展望台から札幌の市の様子を見学する児童



	・平野由佳氏による講話を聞く児童  ・楽しそうにボブスレーの体験をする児童 
6 主な成果	・施設の見学を通してオリンピックへの興味・関心を深めることができた。スキージャンプ競技場や選手が実際に使っていた道具などを見学することで、競技や選手へのあこがれを抱く児童が多くいた。 ・札幌オリンピックミュージアムでソチオリンピック女子アイスホッケーの平野由佳氏の講話では、「諦めずにチャレンジすること」「目標に向かって努力すること」の大切さを学ぶことができた。 ・札幌オリンピックミュージアムの施設見学や展望台見学を通して、札幌オリンピックの開催で、札幌のまちが発展したことを学ぶことができた。
7 実践において工夫した点	東京オリンピックや札幌オリンピックの資料を活用したオリエンテーションを通してオリンピックへの興味・関心を高め、目的意識をもって札幌オリンピックミュージアムを見学することができた。
8 主な課題等	・時間が足りなかった。展示室や体験コーナーの見学が十分でなかった。昼食持参して午後も活動できるようにすると、充実した学習になる。 ・学校から施設までの移動が非常に遠く、児童には早めに登校してもらったが、開館時間には間に合わなかった。 ・オリンピックによる講話は非常に興味深いものだったが、3年生の子どもたちには少し難しい内容だった。
9 今後の取組について	学習を通して実感したオリンピックの精神やスポーツの素晴らしさを体育の学習や、学校生活に生かしていく。